



主 題

- クラ ブ (主 題) “ He that would know what shall be, must consider what has been. ”
「故きを温ねて新しきを知る」 岩原 義則 会長
- 国 際 (主 題) “ Mission with Faith ”
「信念のあるミッション (使命・目標)」 ウィチアン・ブーンマパジョン (タイ)
- ア ジ ア (主 題) “ Through Love, Serve ”
「愛をもって奉仕をしよう」 エドワード ケーダブリュー オング (シンガポール)
- 西日本区 (主 題) “ You can do it! Yes, you can! ”
「あなたならできる! きっとできる」 遠藤 通寛 (大阪泉北)
- 中 西 部 (主 題) 「和を以て貴しとなす」
奥田 時夫 (大阪土佐堀)

聖 句

見よ、闇は地を覆い
暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で
主の栄光があなたの上に現れる。 イザヤ書 60章 2節

読書の秋も終わりですが

福島 真一

私は小説を読むのが好きです。老眼が進むまでは推理小説・歴史小説・警察小説などを乱読していました。今も読書は趣味の一つですが、量は減ってきています。今年読んだ小説の中で一番おもしろかった小説は、「ドーン」(平野啓一郎著 講談社文庫)でした。

平野啓一郎さんは、人間の本质は決して一つではなく幾つもある顔・性格を持っていてそれが本質なのだ。人間は決して唯一無二の「(分割不可能な) 個人 individual」ではなく、複数の「(分割可能な) 分人 dividual」である、という考えを持ってこの小説を書かれています。

この小説は、2033年に人類初の火星探査で火星に降り立った6人の宇宙飛行士が地球に帰還した後の2036年の物語です。主人公は、その一人であった佐野明日人——日本から選ばれた優秀な救急医療の外科医——です。

もちろん2036年の地球の様子も書かれています。例えば、コンタクトレンズでパソコン画面を見たり操作できたりとか、世界各国の町中にある防犯カメラがネットワーク化され「散影」と言うシステムで検索すればどこにだれが存在していたかがわかるようになっていたりなど、その他もいろいろ出てきますが、これは小説の本筋ではありません。

片道2年半の火星往復の間に、閉鎖された空間——宇宙船ドーン——の中で起きた出来事が、地球への帰還後の6人の生活に影響を及ぼし、問題を引き起こします。

とてもスケールの大きな小説で内容が濃く面白いです。皆さんもぜひご一読ください。

12月 例会プログラム

< クリスマス例会 >

- 日時：2015年12月15日(火) 18:30~21:00
会場：レストラン&ラウンジ「翔」 毎日インテシオ 3F
司会：奥田 時夫メン
会費：メンバー会費7,000円、ゲスト会費6,000円
担当：C班(福島、小島、今村、中川、北村、奥田、灰谷)
1. 開会宣言・点鐘 岩原義則 会長
 2. ワイズソング ー 同
 3. 聖句朗読・メッセージ 秋田正人 メン
 4. 入会式 大井 孝和さん 司式 岩原義則 会長
 5. ゲスト紹介 司 会 者
 6. ゲストスピーチ 「忠臣蔵 大高源吾」 旭堂南照 師匠
 7. 食前感謝 秋田正人 メン
 8. 晩餐と歓談 ー 同
 9. 関学「マハロ」：パウスカートお披露目フラ
 10. ファンドオークション 福島真一 メン
- *使用済み切手・ファドオークションの品をお持ちください。**
11. インフォメーション 小島英恵 書記
 12. YMCAニュース 小路清一 連絡主事
 13. 誕生日・結婚記念日 岩原義則 会長
 14. ニコニコ 司 会 者
 15. YMCAの歌 ー 同
 16. 閉会宣言・点鐘 岩原義則 会長

12月の強調テーマ < EMC-E YES >

Eの前にM(メンバー増強)。モットーの義務で、自分が連れてきてもらったように、仲間を連れてきましょう。ドロップの前に1人が1人を連れて来る工夫。YES 献金は新規クラブ設立資金です。
小野勲 紐 EMC 事業主任 (西宮クラブ)

11月例会報告

丹吾 礼

11月

役員会報告

小島 英恵

11月17日(火)に例会を行いました。3度目の参加の大井孝和さん、2度目の吉村直子さんがお越しくださり、遠くからは、来阪中の台北セントラルクラブ小山直則ワイズと札幌西クラブで元大阪クラブメンバーの森本武ワイズが参加されました。YMCAからはIHSスタッフの花本茜さんが、ビジターには京都ZEROクラブの佐古田ワイズ、大阪センテニアルクラブの大村ワイズ、中村茂高ワイズ、大阪西クラブの湯浅ワイズと会場が満席になる例会になりました。

ゲストスピーカーにサントリーコーポレートビジネス(株)シニアワインアドバイザーの野口博也さんをお招きし、「ウイスキーが大好きでしょ」と題してお話をいただきました。

2種類のウイスキーをテイastingしながら、ウイスキーの楽しみ方、樽の違い、保存方法、飲み方と食べ物を選ばないこととお話しが続きました。

ウイスキーの原酒というのは、樽の中で年平均2~3%が消費されるため、20年を超えるものは貴重で、高価なものとなります。今は世界的に売れていて原酒がない状況だそうです。日本でも「マッサン」の効果で人気も上がり、嬉しい悲鳴をあげられているそうです。

ちょっと酔っ払った方もおられましたが、そのおかげかオークションも盛況!楽しい例会になりました。



誕生日&結婚記念日



テイasting

日 時: 2015年11月24日(火) 18:30~20:30

場 所: 奥田ビル3階

出席者: 岩原会長、岡野、奥田、小島、工藤、小路(連絡主事)、只野、丹吾、永井、福島、水口

報告事項

1. 11月例会

[11月17日(火) 18:30~20:20 大阪YMCA会館902号室]
例会担当B班 出席者: メン18名、メネット2名、コメント2名、ゲスト4名・ビジター6名 メーキャップ1名、出席率16/17=94.1%、ココ:10,350円/53,090円、トファント:14,350円/63,880円

ゲストスピーカー: サントリー コーポレートビジネス(株)シニア ワインアドバイザー 野口博也さん

2. とさぼりカーニバルの出店

[11月3日(祝) 11:00~14:00 大阪YMCA会館] 出席19名

4. 65周年記念例会と65周年実行委員会発想

5. 各部会の出席、65周年例会アピール

6. IBC交流について

7. 評議会報告

協議事項

1. 12月例会

[12月15日(火) 18:30~21:00 ラウンジ翔]

例会担当C班: 福島、小島、今村、中川、北村、奥田、灰谷

2. 1月例会

[1月23日(土) 中西部合同新年会 大阪YMCA会館]

3. 65周年記念例会拡大委員会の開催と案内について

4. 中西部YYYフォーラムの参加申し込みについて

5. 大井孝和さんの入会手続き、オリエンテーションの件

6. 土佐堀YMCAクリスマスコンサートの応援準備

[12月3日(木) 18:30~ 大阪YMCA会館]

訃報 生地義治ワイズのメネット、生地絹江様が、去る10月31日(土)午後3時にお亡くなりになりました。入会以来、ともにワイズ活動をなさっていましたが、17年間の闘病生活を送られました。謹んでお悔やみ申し上げます。

大阪河内クラブ40周年記念祝会

2015年11月8日(日)

大阪河内クラブ40周年記念祝会が、YMCA サンホーム6階で開催されました。当日は、114名ものワイズ関係者が出席され、会場がまさに溢れんばかりの盛会でした。横田憲子会長の点鐘で始められた会は3部構成で、第一部は岩坂正雄メンによる聖書朗読、末岡祥弘大阪YMCA総主事・遠藤通寛西日本区理事・林佑幸阪和部部長による祝辞の後記念品が贈呈され、来賓の紹介がありました。第二部の食事・歓談では、サンホーム食堂職員による素晴らしい手作りの立食が提供され、川上ワイズによるマンドリン演奏や河内弁ロールバックマラリアの寸劇が会場を和ませてくれました。第三部は、ロビン・ロイドさんによるアフリカ楽器カリンバの演奏と土佐堀クラブ出身のチャーターメンバー3名の一人である伊藤圭介メンによる爆笑写真紹介で会場は大いに盛り上がりました。河内名物(?) 当たりくじも田中惟介メンの話術で最後まで盛り上がり、畠平剛志実行委員長による点鐘で盛会のうちに閉会となりました。(小路 清一 記)



[International Brother Clubs]

IBC 濟州三多クラブ憲章伝授 30 周年記念式冊子メッセージ

10月24日に濟州で行なわれた三多クラブ30周年の式典に出席したことは、ブリテン11月号で報告した通りですが、当日、式典会場で配布された冊子の祝辞の中で李会長と金濟州区理事が土佐堀クラブへのメッセージを述べておられます。

李キソク会長記念辞：「私たち三多クラブの IBC・日本大阪土佐堀クラブから、遠い距離を厭わず、わざわざ足を運んで下さった岡野泰和ワイズと奥田時夫ワイズ、そして、岩田晋ワイズに心から感謝の意を表わします」

金キョンラク濟州地区理事祝辞：「この席には、今日の意義深い日を祝うために三多クラブの兄弟クラブである日本大阪土佐堀クラブからも来て下さいました。濟州を訪ねて下さったことを心から歓迎し、楽しい時間を過ごされることをお祈りします」



李キソク会長



金キョンラク濟州地区理事



シリーズ「私の〇〇年前」⑪ (会員リレーエッセイ)

私の28年前 西YMCAにて

工藤 義正

2000年まで阪神西九条駅ビル内にあった西YMCAで土佐堀カーニバルの前身ともいうべき西Y祭りなど様々な会員活動が行われていました。

写真1は西YMCAの3階会議室での写真です。1987年頃の土佐堀、大阪西、大阪、センテナルの各ワイズ面々です。私もまだ30代で岩田さん、島平さん、今村さん、灰谷さんも若いですね。

西Yの地域活動委員会が大阪北港で海洋プログラムリーダー育成を視野に入れた西YMCAヨットクラブの設立に取り組んだのもその頃でした。ディンギー(エンジンのないセーリングヨット)2杯を皆さんからの寄付で購入し、1990年4月北港ヨットハーバーでヨットクラブはスタートしました。クラブ員募集の呼びかけに応え、西Yにやってきた中に元中央YMCAリーダーの只野準一さんもいました。

写真2は「エルシノア号」で西YMCAヨットクラブのメンバーたちと神戸YMCAの余島キャンプ場への到着時のものですが、翌日の帰りの航海で荒れた海の怖さを体験しました。九州南の台風の接近の影響で播磨灘も時化始めましたが都合もあり思い切って朝出港。東へ帰るのに東寄りの強風と波。声は波飛沫に混ざり後ろに飛んでかき消されます。操船中、腰からは半身浴のように海水に浸かっていました。

大自然に試されながら14時間の格闘後、夜10時半、無事西宮のハーバー入港。その時の安堵と達成感の混ざった潮まみれの皆の顔が忘れられません。



写真1



写真2

